

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272600289		
法人名	社会福祉法人八千代会		
事業所名	グループホームせせらぎ		
所在地 (電話番号)	〒0395201 青森県むつ市川内町字獅子畑128番地4 (電話) 0175-42-3103		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 8月 22日	評価確定日	平成 19年 10月 12日

【情報提供票より】(平成 19年 7月 21日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・ 平成 14年 1月 4日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	14 人, 非常勤 0 人, 常勤換算 12.2 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造陸屋根平屋建造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	31,400 円	その他の経費(月額)	9,500 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,380 円

(4) 利用者の概要(7月 21日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	4 名	要介護2	4 名		
要介護3	9 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 87.3 歳	最低	69 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	一部事務組合下北医療センター国民健康保険川内病院
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>管理者の厳格、真摯な取り組みが職員の対応や事業所の加算の取り方に現われている。利用者本位の姿勢が徹底されており、職員の質の高さと利用者の住み心地のよさがうかがわれる。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回は要改善点なし。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>計画作成担当者が代表して作成後、各職員に報告、確認して作成している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議においては、法人側以外の参加者からも質問・意見等されている。他グループホームで冬にあった入浴事故について質問があった際には、ホームの人員配置や体制について回答し、真摯に取り組んでいる様子が窺える。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族からの苦情はなく、また意見については法人全体で実施している家族会で吸い上げを行っている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>併設している特養・デイサービス等の温泉が地域住民に開放されており、地域住民との交流の深さが窺える。また、グループホーム外側の水道は山から湧水を引いておりそれも地域住民に無料で開放されている。近隣の方が野菜を持ってきたり日常の交流はもとより、地域行事に参加したり、慰問を受けたり交流は盛んに行われている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員協働で作成したものではないが、全国認知症グループホーム協会の作成した「グループホームの倫理綱領」がもっとも適切であるとの考えから理念として設定しており、その中身全てが大事なことと認識して取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は事業所内に掲示されており、管理者の指導のもと利用者本位のケアが実施されている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	法人の運営する施設全体が開放的であり、また、慰問・ボランティアの受け入れも活発で、地域行事にも積極的に参加している。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価を全員で行い、計画作成担当者が代表して作成後、他職員にスタッフ会議等を通じて報告、改善等検討している。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議においては、法人側以外の出席者から意見・質問等あり真摯に行われている様子が議事録から窺える。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>全て自事業所内で解決できているため、今まで困難ケースとして市担当者と協働した例はないが、市側に広報誌を提供し、また市担当者と連絡をとり、情報収集に努めている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在当該制度を利用している利用者はいないが、職員は研修等で理解している。問い合わせについては、在宅介護支援センターが引き受けているため、グループホームに問い合わせがくることはない。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>利用者本位を管理者以下徹底して実践しているので、職員も十分理解している。</p>		

外部 評価 値	自己 評価 値	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約にあたっては、利用者・家族の同意を得ている。また、看取りについても同意を得ている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>請求書の送付等に合わせて近況を報告している。面会の少ないご家族には、電話だけでもしてもらえよう働きかけている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>法人全体で実施する家族会や運営推進会議、アンケート、苦情箱の設置等で家族の意見等を聞いている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>人事異動は定期的には実施しているが、同じ敷地内の施設なので、異動転出した職員は時折グループホームに顔を出して利用者に混乱等起きないように配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は適宜参加し、事業所内においては、計画的に研修を実施している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会に加入している。同業者との交流については、最近が多忙で行っていないが、設立当初に他事業所に見学に行ったことがある。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	デイサービス利用者が入居する場合は、入居前の利用日にグループホーム職員が顔出しして、馴染みになるよう努めている。デイサービスを利用していなかった場合には、訪問していたヘルパーが入居直後に頻回に顔出ししている。また短期入所利用後に入居する場合も短期入所利用期間にグループホーム職員が顔出しして、馴染みになるよう、できる限りの手段で入居者の不安をなくすよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	茶碗拭き、掃除、配膳等、入居者ができることは共同して行い、入居者自身に役割を持たせている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者本位に努め、外出も危険のないよう職員が影から見守り、できる限り入居者の意に反しないよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、本人のほかご家族の意見も取り入れて作成している。状況の変化については、スタッフ会議で随時情報提供・共有して介護計画に反映している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	最低6カ月に1度は見直しているが、状況に変化があった場合は即時、介護計画を見直している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の受診は原則家族対応であるが、できる限りの便宜を払い、受診を支援している。併設している施設の浴室も頻回に利用している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力病院の他、入居者の希望する医療機関に受診介助したり、訪問診療が受けられるよう調整している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>事業所の職員として看護師を1名(24時間連絡体制確保)確保し、重度化した場合の対応に係る指針を定め、入居者または家族等に対して、当該指針の内容を説明し、同意を得て「医療連携体制加算」を算定している。</p>		<p>医療器具の設備が整っていないので購入等今後に期待したい。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員の姿勢には入居者の尊厳を尊重している様子が見られ、失礼にあたるような声掛けはみられない。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>日課はなく、入居者は自らのペースで生活しており、食事の時間以外は自室で過ごす方も多数みられた。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事にあたっては、職員も同席している。食事の会話については、自らの躰に従って無言を守るかたもいるが、会話を楽しみながら食事をする人もおり、各々のペースで済ませている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴は特に入浴日を決めず、入居者自身の入りたい時に入浴してもらっているため、夜間に入浴する場合もある。入浴を拒否する方もいるが、工夫して自ら入るよう促している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>種々のレクリエーションを行っている。普段無口な方が、花札に興じると饒舌になったりもする。通院をかねて買い物も実施している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>近所への散歩は入居者のしたいときにできるよう支援している。近隣への外出も職員の介助で、時折出かけている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	当該事業所の理念に沿って、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。マニュアルも整備している。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は施錠するが、日中は職員が目配り・気配りでカバーして、無施錠を実現している。入居者が勝手に外出してしまっても職員が見守り付き添って、事故のないようにしている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	訓練は計画的に実施されている。消防年2回、地震年1回の訓練を実施している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設施設の栄養士の協力を得て、献立をたてている。献立作成に当たっては、入居者の好物の反映に努めている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを整備し、また看護師による勉強会も随時開催し、予防・蔓延防止に努めている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>生活空間は幼稚になっておらず、利用頻度の少ない部屋があるほどゆったりしたスペースとなっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家具・小物等持ち込めるものは持ち込んでもらっている。</p>		

 は、重点項目。